

群馬県感染症発生動向調査情報 (官庁連絡会議資料 2022年5月号)

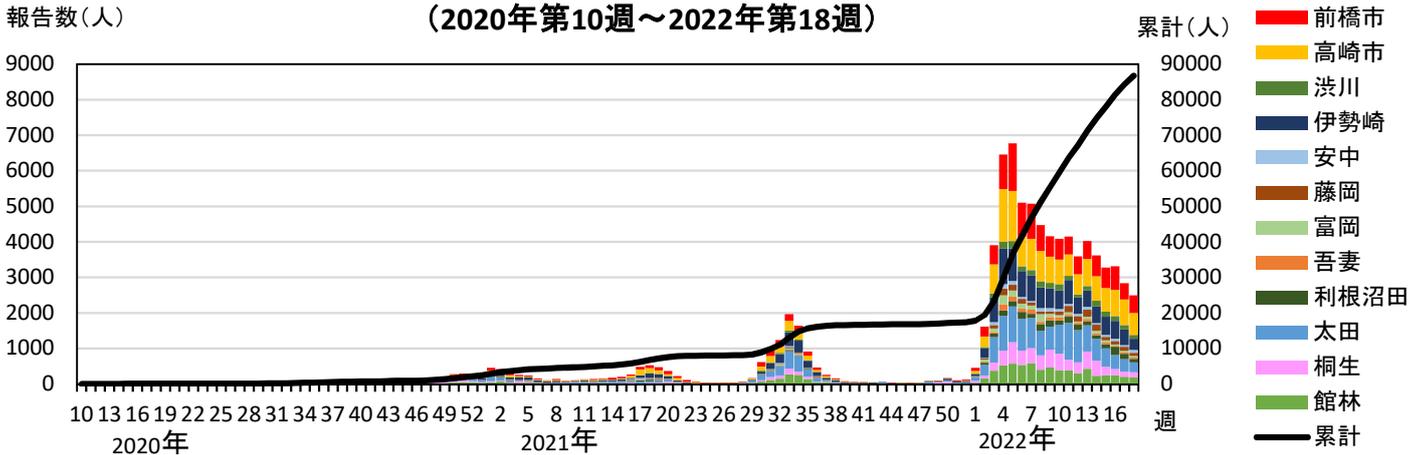
● 新型コロナウイルス感染症 (2022年5月10日 9:00現在 暫定値)

※群馬県のデータベースをもとに検査確定例のみ集計しています。HER-SYSデータを確認後、修正することがあります。

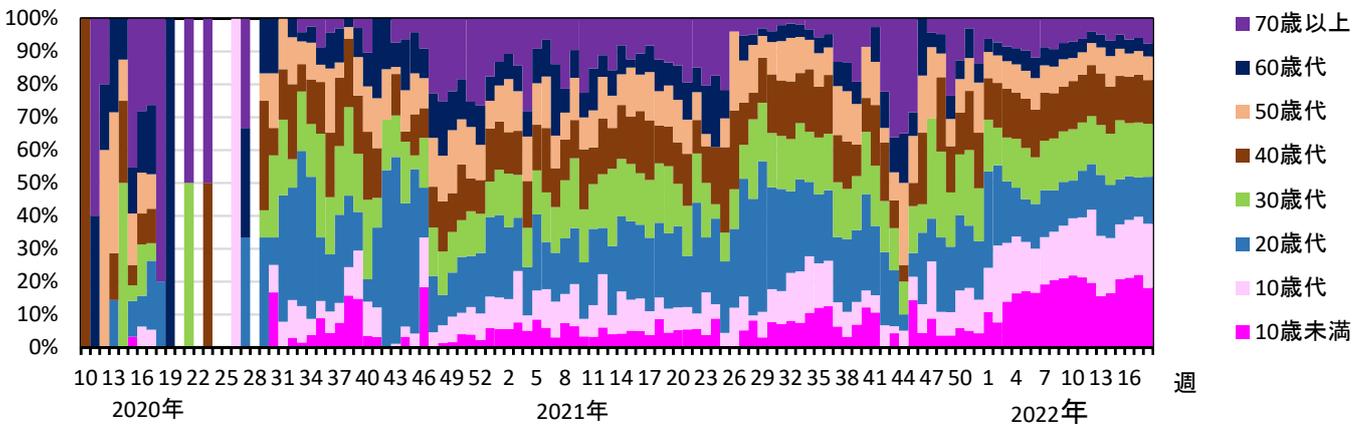
【2022年第18週 (～5月8日まで)】

2022年第18週の新型コロナウイルス感染症 (検査確定例) の報告は2,495例で、第17週 (2,830例) から減少しました。調査開始 (2020年) 以降の累計報告数は86,726例です。

届出保健所別報告数 (検査確定例)
(2020年第10週～2022年第18週)



年齢群別報告数割合 (検査確定例)
(2020年第10週～2022年第18週)



【4月】

- ◆ 報告数は14,794名で、3月の報告数17,338名から減少しました。届出保健所別では、高崎市が最も多く3,132名 (21%)、次いで前橋市2,504名 (17%)、太田2,204名 (15%)、伊勢崎2,121名 (14%) でした。
- ◆ 年齢群別報告数は10歳未満が2,849名 (19%) と最も多く、次いで10歳代2,508名 (17%)、30歳代2,434名 (16%)、20歳代2,157名 (15%)、40歳代2,133名 (14%) でした。

《参考：新型コロナウイルス感染症患者発生状況 (5月9日公表)》

県内患者発生数※ 87,384名 県内死亡者数：309名

※令和4年1月24日厚労省通知による疑似症患者を含む

国内患者発生数 (感染者：厚労省発表)：8,099,533名

*この情報に関するお問い合わせ先：群馬県感染制御センター (群馬県衛生環境研究所)

TEL: 027-232-4881 E-mail: kansenseigyoc@pref.gunma.lg.jp

●新型コロナウイルス SARS-CoV-2 ゲノム解析について(Vol.19)

新型コロナウイルスゲノム解析結果(2022年第16週(4月18日～24日)まで)

デルタ株が2021年第19週(5月10日～16日)に初めて検出され、第29週(7月19日～25日)以降、AY.29が流行となりました。県内では、第48週(11月29日～12月5日)以降、デルタ株の再流行がありましたが、オミクロン株が第50週(12月13日～19日)に初めて検出され、2022年第1週(1月3日～9日)以降、BA.1が主な流行となりました。

第2週(1月10日～16日)に渡航歴のある患者からBA.2も検出されましたが、その後の拡大はみられていませんでした。2022年第9週(2月28日～3月6日)以降、BA.2の検出が増加し、現在主な流行となっており、引き続きゲノム解析による流行の把握が重要と思われます。

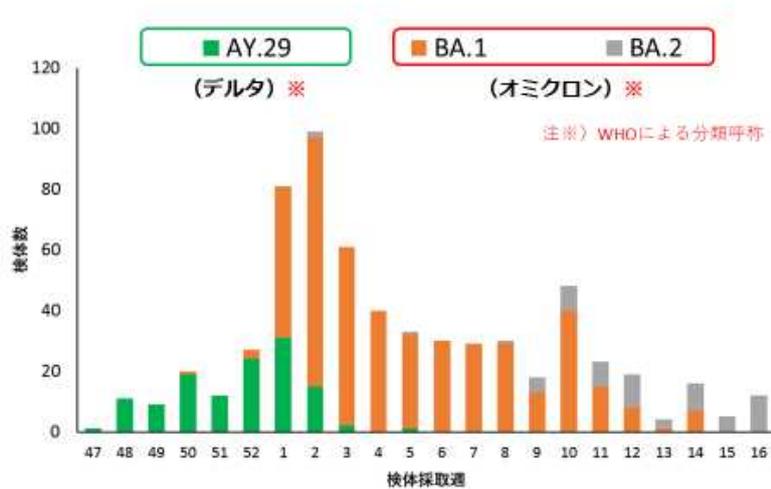


図1 新型コロナウイルス分子系統の時系列解析(検体数)【群馬県衛生環境研究所実施分】

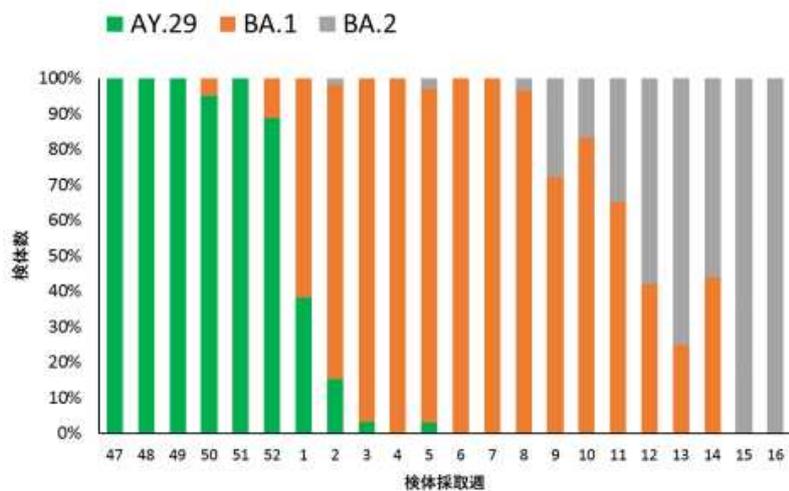


図2 新型コロナウイルス分子系統の時系列解析(割合%)【群馬県衛生環境研究所実施分】